

## V グループホームしんあい（令和5年度事業計画/事業報告）

### 1. 令和5年度経営方針

令和5年度については、安心安全なグループホーム運営を目指し、より安定的な事業経営を図り、消防設備の整備や老朽化している各ホームの修繕を実施する。

その上で、高齢化、重度化する利用者に対して、利用者本位のサービスを実現するために、内部研修や会議等を充実させ、職員育成を図り、サービスの質の向上に繋げていきたい。

#### (1) 福祉サービスの内容

ア 共同生活援助事業(介護サービス包括型:全9ホーム、定員49名)

地域の中にある共同生活住居での生活を望む障害のある方に対し、主として夜間に入浴、排泄、食事の支援や相談、日常生活上の必要な援助等を提供する。

### 2. 令和5年度取り組み

#### (1) 利用者支援

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	5年度実績
ア 利用者のニーズに沿った個別支援計画の作成と実施	<p>(ア) アセスメント、計画作成、モニタリングを画一的になることなく適切に実施する。</p> <p>(イ) 記録システム(ケアコラボ)を利用し、効率よく情報を共有し、記録内容の充実を図ることで、サービスの質の向上に繋げる。</p> <p>(ウ) 各利用者の日中活動先への訪問を行う。</p>	<p>(ア) アセスメント、モニタリングなどはケース担当とサービス管理責任者とで定期的に確認の場を持った。</p> <p>(イ) 記録システム(ケアコラボ)の機能を活かし、必要とされる利用者の記録を効率的に収集・活用することができた。</p> <p>(ウ) 日中活動先へは特にこれまで訪問ができていなかった利用者の活動場所を訪問できた。また、ケース会議が通所先で行われることもあり、その際は利用者の様子確認をした。</p>
イ 虐待防止、権利擁護	<p>(ア) 虐待防止、権利擁護に関する外部研修への参加や内部研修を実施する。</p> <p>(イ) 新規採用時に虐待防止・身体拘束等の適正化の研修を実施する。</p>	<p>(ア) 法人内別事業所の相談員による研修会を2回、同事業所職員による GSV 方式による研修を1回実施した。</p> <p>(イ) 新規採用時には、現場での勤務を開始する前に必ず関連する動画を視聴してもらい、内容の確認をした。</p>
ウ 余暇支援の充実	<p>(ア) ケース担当、サービス管理責任者による余暇支援に関するニーズを把握する。</p> <p>(イ) ニーズ調査・整理を行い、個別の余暇支援や集団で行う余暇支援を計画的に設定する。</p> <p>(ウ) 移動支援事業所との連絡調整を行う。</p> <p>(エ) 現在行っているクラブ活動の在り方を見直し、新たな取り組みを行う。</p>	<p>クラブ活動、季節行事など今年度も引き続き実施してきたが、それをふまえ余暇支援全般について職員会議などで話し合い、次年度以降の進め方を確認した。これまで実施してきたクラブ活動は次年度以降一旦廃止し、それぞれの利用者のニーズを改めて確認をしながら、その時々でタイムリーに余暇支援を提供していくかたちで取り組んでいくことになった。</p>

## (2) 人材育成

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	5年度実績
ア 外部研修への参加	<p>(ア) 外部研修の内容を職員会議等で報告し、事業所全体の支援の質の向上を図る。</p> <p>(イ) 強度行動障害研修に参加する。</p> <p>(ウ) 視察研修を実施する。</p>	<p>(ア) 職員会議にて情報共有、支援の質の向上につなげた。</p> <p>(イ) 強度行動障害研修には2名参加した。</p> <p>(ウ) 視察研修については、現在のグループホームの課題検討を考慮して(社福) 邑元会しびらき(グループホーム、就労継続B型施設)と(社福) 彩明会ひより(生活介護: 重度障害者・高齢者対応施設)を訪問し、見学や説明を受けた。</p>
イ 内部研修の充実	<p>(ア) 虐待防止、権利擁護研修を実施する。</p> <p>(イ) 地域生活定着支援研修。</p> <p>(ウ) 非常勤職員が増えていることから、情報交換会を兼ねた研修会を実施する。</p> <p>(エ) 救命講習の実施。</p>	<p>(ア) 計3回の虐待防止、権利擁護研修を開催した。(再掲)</p> <p>(イ) 地域生活定着支援研修は1月に実施。</p> <p>(ウ) 非常勤職員情報交換会は10月に実施。中々顔を合わせられない職員同士で話をするよい機会となった。</p> <p>(エ) 救命講習は2月に実施した。</p>

## (3) 施設設備管理

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	5年度実績
ア スプリンクラー設置	防火安全対策として、スプリンクラー未設置の事業所(すまいる)にスプリンクラーを整備する。	11月～施工開始し、2月に工事終了。問題なく設置完了。 建物附属設備取得費 3,630 千円
イ 各ホームの修繕	各ホームの老朽化している箇所や備品について、定期的に修繕を行う。	サンハイムの屋根の補修と電気関係の補修などを行った。 修繕費 901 千円
ウ 消防設備点検	<p>(ア) 消防設備点検の業者への委託。昨年度、見積合わせの結果、点検業者を変更した。今年度も再度見積もり合わせを行い、業者を選定。</p> <p>(イ) 消防設備の自主点検を行う。</p>	<p>(ア) 昨年度と同じ業者に依頼をし、点検を実施した。</p> <p>(イ) 消防設備の自主点検は職員により、各ホーム行った。</p>

## (4) 危機管理

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	5年度実績
ア 防犯・防災対策	<p>(ア) 消防計画を基に消火訓練、夜間想定避難訓練、通報訓練を実施する。</p> <p>(イ) 夜間の防犯・防災対策として警備会社と契約し、緊急時に対応できる体制を整える。</p>	<p>(ア) 9月にサンハイムにて通報訓練と夜間想定避難訓練を実施、3月に通報訓練と消火訓練を実施した。</p> <p>(イ) 警備会社との契約は常時夜勤者を配置しない6ホームについては契約を完了している。</p>

イ 安全運転管理	<p>(ア) 経年劣化が著しい車両を計画的に切り替える(原則、リース)。</p> <p>(イ) ドライブレコーダーの映像を定期的に確認し、事故報告書やひやりはっと報告の検証を行う。</p> <p>(ウ) 車両点検、運行表の記入、安全運転を励行。</p> <p>(エ) 事業所内での運転者の酒気帯びの有無の確認を徹底する。(道交法改正に伴う)</p>	<p>(ア) 経年劣化が著しい車両2台について、リースに切り替えた。</p> <p>(イ) ドライブレコーダーの確認は月1回までは難しかったが、必要に応じて検証した。</p> <p>(ウ) (エ) 酒気帯びの有無については、勤務前後にアルコールチェッカーにて確認をした。</p>
----------	--	---

(5) その他

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	5年度実績
ア 地域社会との共生	地域における公益的な取り組みとして、職員と利用者数名で各ホームの周辺地域の夜回り活動を行う。	例年同様、利用者と職員とで近隣を回った。
イ AED の設置	緊急時に対応するためにえみふるにAEDを設置。	4月にえみふる玄関に設置完了。
ウ 勤務体制の見直し	夜勤の勤務時間を含め、全体的に勤務体制の見直しを検討・実施する。	勤務体制について、課題を出し合うことはしたものの、具体的な見直しやそれに関する検討は実施できなかった。

■ グループホームしんあい(令和5年度事業報告 資料)

令和年3月31日現在

1 利用者状況

(1)障害支援区分(名)

支援区分	全9ホーム		
	男	女	計
区分6	5	1	6
区分5	9	6	15
区分4	7	3	10
区分3	10	1	11
区分2	3	0	3
区分1	0	0	0
非該当	0	0	0
合計	34	11	45

(2)年齢構成(名)

区分 種別	性別	20歳未満	20歳以上～30歳未満	30歳以上～40歳未満	40歳以上～50歳未満	50歳以上～60歳未満	60歳以上	平均(歳)
		全9ホーム	男	1	2	5	2	11
女	0		0	0	1	4	6	60.6
計	1		2	5	3	15	19	55.0

(3)通院・入院状況(回)

区分	科目	精神科	内科	外科	眼科	耳鼻科	皮膚科	整形外科	婦人科	歯科	その他	計
	通院		127	145	43	47	27	68	19	8	152	117
入院	件	0	4	0	0	0	1	0	0	0	0	5
	日	0	136	0	0	0	9	0	0	0	0	145

(4)日中活動・就労状況(名)

区分 ホーム	ワークス しんあい	親愛センタ 一通所部	親愛 南の里	法人外事 業所	一般就労	その他	計
全ホーム	14	11	1	10	8	1	45

2 事業所状況

(1)各事業の実施状況

事業名	定員(名)	平均利用人数(名)	利用率(%)
共同生活援助	49	45.7	92.8

